

プーレストが描いたフェルメール

フランスの小説家マルセル・プーレストは、フェルメールの『デルフト眺望』を「世界で一番美しい絵」だとし、その絵を小説『失われた時を求めて』の重要な挿話に描き込みました。講演では、プーレストの芸術観と、その箇所を描いたプーレストの意図と芸術作品の永続性について考えてみたいと思います。

この講座は、福島県立美術館開催の「フェルメールとレンブラント」展（4月6日 - 5月8日）の関連講演「プーレストが描いたフェルメール」（コラッセ福島・4月23日）と同内容を短縮した講演です。

[日 時] 平成28年4月28日（木）
17:30～18:45

[会 場] 福島大学M講義棟3F AV教室

[講 師] 福島大学行政政策学類教授 田村奈保子

[参加費] 無料

[定 員] 50名程度 事前申込不要

開始時間 10分程度前までに会場へお集まりください。

主催：美術館とまちづくり研究会

（福島大学地域創造支援センター登録研究会）

お問合せ：福島大学(〒960-1296 福島市金谷川1番地)行政政策学類

田村奈保子研究室

TEL:024-548-8306

E-mail:a090@ipc.fukushima-u.ac.jp